

IV 事業概要

3 社会教育事業

【1 生涯学習に関すること】

(2) ジュニア化学への招待 ～楽しい化学実験室～

この実験教室は、小学3年生以上を対象に、身のまわりの化学現象に目を向けて、化学のおもしろさ・不思議さを紹介し、化学をより身近なものと感じてもらうとともに、科学する心の高揚をはかることを目的として毎年開催しており、日本化学会東北支部の共催のもと、宮城教育大学、日本大学工学部および県内高等学校の先生方等に講師を依頼して実施した。

- ① 「反応でプラスチックを銀色に変えよう」（参加者 63 名）
- ・ 銀鏡反応を利用して、プラスチックに銀を付着させて鏡を製作する実験を行った。



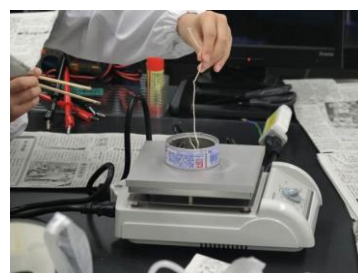
鏡の作成

- ② 「『凍る』とあたたまる？」（参加者 39 名）
- ・ 氷に食塩を加えて十分に冷やした容器に、培養試験管の食塩水を入れて凍るまで温度変化を測定する実験を行った。



凝固熱の測定

- ③ 「消えないろうソク」（参加者 27 名）
- ・ ろうの液体にマグネシウム粉末をとかし込み、ろうソクの芯に付着させて、消えないろうソクを作成する実験を行った。



消えないろうソクづくり

- ④ 「水溶液を七色に変えよう！」（参加者 42 名）
- ・ 紫キャベツなどを指示薬として利用し、身の周りの水溶液の性質を調べる実験を行った。その学習成果を利用して試験管内に様々な色を出現させる実験も行った。



試験管に虹をつくる

- ⑤ 「あれっ!!いつの間にか色が変わった！」（参加者 39 名）
- ・ ブルーボトル反応、信号反応、時計反応について、参加者が自ら試薬を計量して実験をおこなった。時計反応については、反応までの時間設定を行い、それぞれの考えに基づいた検証実験を行った。



色が変わるボトル